

今月のPICK UP NEWS!



料理教室を機に人吉のファンに

食を通じた関係人口の創出を目的とした「人吉オンラインクッキング教室」の第1回を、1月22日にくまりのレンタルキッチンで開催しました。人吉球磨産の野菜や加工品などを事前に参加者へ送付し、地域で活躍する料理人や生産者が講師となってオンラインで料理を指導。指導を受けながら参加者も一緒に調理するというものです。

第1回の講師は「農村レストラン&農泊 ひまわり亭」代表の本田節（せう）さんで、郷土料理のつぼん汁とまぜ飯の作り方を指導。材料や料理の説明に加え、参加者に食材として送ったシイタケなどの生産者も動画で紹介しました。富山県からの参加者は、「この機会に人吉へ行きたいと思った」と人吉へ関心を寄せていました。



カメラを前に作り方のポイントなどを説明しながら料理する本田さん（上）／教室には大阪府や富山県からなど6人が参加した（左下）／春の訪れを感じる人吉のハレの日のおもてなし料理として紹介したつぼん汁とまぜ飯（右下）



03 お人よし

04
|
06 人吉市成人式フトリポート

07 国民年金保険料の学生納付特例制度

08
|
09 話題をおって

10 令和2年7月豪雨からの復旧復興状況

11 市民健診の申し込みが始まります

12
|
19 情報ひろば20 ひとよしのお仕事file
Let's フレイル予防21 地域防災官の命を守る話
ふるひと どぎやんね22 はい、こちら消費生活センターです
保健センター子育て通信23 教えて！マイナちゃん
市長日記24 わが家の愛ドル
ようこそとしょかんへ！25 みなさんからのおたより／hitoyoshigram
編集後記

26 ひとよしの情報発信・各種相談ガイド

27 休日在宅医・当番薬局・行事カレンダー

28 みんなのまちの掲示板 ためまっぷ人吉
実証事業を行います

※掲載している人物の写真は撮影時のみマスクを外している場合があります。

今月の表紙



華やかな振り袖に身を包み、成人を迎えた喜びを体いっぱい表現する新成人の西門美紅（にしもんみく）さんと大柿香織さん。成人式の様子は4～6ページで紹介しています。

常に新しい自分に挑戦していきたい

独立美術協会の会員になった画家

倉橋 完治さん（願成寺町）

くらはし かんじ

昭和33年12月7日生まれ。人吉高卒業。絵の勉強のために東京藝術大学を目指すも、20歳で福岡調理師専門学校へ進学。その後、本屋や建設関係の会社に勤務。美術の教師になるため、武蔵野美術短期大学の通信教育で教員免許を取得。28歳で中学校の教師になり、人吉球磨地域の中学校を中心に教壇に立つ。3年前に定年退職し、現在は球磨郡多良木中で非常勤講師を務めながら、自身の制作活動に励む。人吉球磨総合美展会員。独立美術協会会員。



▲絵画のほか、鉄の端材を使ったアート作品なども制作



▲独立展へ出品した作品なども収められた倉橋さんの作品集

お人よし

人吉で輝いている人

画

家のプロ集団とも呼ばれる独立美術協会。その会員約150人による厳しい審査で知られる公募展が「独立展」だ。令和4年10月に開催された第89回展で会員に推挙された。

「厳しい世界だからこそ挑戦したいと思った」。独立展への初出展は平成23年。学校に勤務し、空いた時間に制作活動を行う中、知人の後押しを受け出展した。初出展で入選するも、展示会場で会員に作品の感想を求めると9割以上が批判的な意見。それでも自分が表現したいものを描き続け、平成27年には新人賞を受賞した。「利便性を求めて時代が変化する中で人は多くのものを失ってきたが、本来備わっている力の全てを失ったわけではなく、そのような内に秘めたる声に耳を傾けるべきだ」という考えの下、平成29年からは「太古の聲」というテーマで作品を描き続ける。令和3年には最高賞の「独立賞」を受賞した。

縦190センチ×横160センチほどのキャンパスの絵を通常2カ月で制作するが、独立賞に輝いた作品は約2年をかけ制作。「うまく描けず悩みながら描く方が面白いし、作品への愛着も湧く」。会員になり今年はさらに大きいキャンパスに描く。『太古の聲』というテーマは一緒でも、その表現方法は今までとは違ったことに挑戦したい。これからも自分が表現したいものと真剣に向き合い続ける。